第77回通常総会議案

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

と　き　令和4年5月26日（木）　15:00～15:30
ところ　倉敷市白楽町249番地5　倉敷商工会議所

公益社団法人 山陽技術振興会

倉敷市美和1－13－33
郵便番号710－0052
電 話（086）422－6655
FAX（086）422－6656
URL https://www.optic.or.jp/sangisin/
E-Mail sangisin@optic.or.jp

第77回通常総会議案

目　　次

第１号議案　「令和３年度事業報告」…… 1

第２号議案　「令和３年度収支決算報告」…… 5

第３号議案　「令和４年度活動方針と事業計画」……14

第４号議案　「令和４年度収支予算」……17

第５号議案　「役員改選」……20

第６号議案　「研修室資産取得資金取扱規程一部改訂」……21

第７号議案　「事業内容の変更に関する申請手続きの件」……22

第８号議案　「定款の一部改訂の件」……22

［第１号議案］

令和3年度　事業報告

１．総会，役員会

名称	開催日	議題	出席者数
第76回通常総会	5月20日	１．令和2年度事業報告 ２．令和2年度決算報告 ３．令和3年度活動方針と事業計画 ４．令和3年度収支予算 ５．研修室資金の凍結一時解除 ６．役員改選（改選期） ７．定款一部修正（字句修正） ・山陽技術振興会76通常総会 書面開催とし、全会員から葉書による投票を受けた。結果、78会員全員から投票券が返送され、全会員から全議案が承認された。	78
第１回理事会	6月10日	上記総会に先立ち送付した総会議案書（案）について電話とメールによる理事会を開催、令和2年度決算（案）、役員一部改選（案）が承認された。	(理事27) (監事2)
第２回理事会	3月29日	会長職務執行報告、第77回通常総会提出議案審議 １．令和3年度の事業報告と決算概要 ２．令和4年度の活動方針、事業計画、収支予算案 ３．役員改選、 ４．規程一部改訂、 ５．その他　第17回村川・難波技術奨励賞、 山陽技術雑誌 Vol.70、その他報告事項 【新装倉敷商工会議所にて開催】	理事17 監事2

() 書面参加を含む

２．委員会

名称	年開催数	主な決定事項と活動
企画活動委員会	0	
雑誌編集委員会	1	山陽技術雑誌Vol.69の編集

３．技術振興事業

（１）講演会　　セミナー

名称	開催日	内容	出席者数
通常総会講演会		通常総会が書面開催となったため講演会中止	

（２）工場見学会

見学工場	開催日	内容	出席者数
該当なし			

（３）技術交流会

名称	開催日	内容	出席者数
該当なし			

４．産学連携製造中核人材育成事業

令和3年度は開業15年目。この一年もコロナ禍対応に苦労したが、「コロナ禍でも企業の人材育成を支援する方針を貫く！」姿勢で対応し、リモート講座の適応拡大に務め、講座担当者の努力と創意工夫、受講企業サイドの協力、受講者の頑張りとが相俟ってほぼ全面的にリモート講座が実施可能となった。結果として、ホームコース、出前コースとも、徹底した感染防止対策のもと講座実施し、出前18、共催2、実証2、公開１を含む74講座を実施し、受講者数は2,228名まで挽回し、年初計画に対し160万円の増益となり、経常損益は360万円の増益となった。増益分は、消費税引当金に160万円、研修室基金に200万円を当てる。今後は、多様なリモート講座の展開、安全体験講座の充実、全講座への拡大等に注力する。

５．技術普及事業

（１）技術情報提供

１．山陽技術雑誌（Vol.69）5月20日発行　300部
　　会員と国内の大学、企業、研究機関などに配布
２．「山技振だより」を毎月初めに発行（山技振ホームページ掲載と会員に郵送）
３．各種助成金・補助金情報を適宜希望者にメール送信（希望者は申し出て下さい。）

（２）第16回村川・難波技術奨励賞

該当なし

（３）文部科学大臣表彰、岡山県知事表彰

・令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」並びに岡山県工業技術開発功労者表彰(岡山県知事表彰)日時:令和3年4月19日(月)14:30~、場所:テクノサポート岡山大会議室にて表彰伝達式･表彰式を開催、新型コロナ対策のため出席者を限定し、表彰状･副賞が受賞者に授与された。一人一人アクリル板で仕切られた受賞者からヒトコト･スピーチがあり、これが大変素晴らしいもので印象に残った。

＊文部科学大臣表彰「創意工夫功労者賞」(山技振入賞1件／申請6件、岡山県計入賞3件)、(1)「ロール剥離故障防止の為の最適ガイド形状の改善」菅田浩一、田中朝仁、松原一喜(JFEスチール㈱西日本製鉄所倉敷地区設備部)

＊岡山県工業技術開発功労者表彰(岡山県知事表彰)(山技振入賞2件／申請3件、岡山県計入賞6件)(1)「 事業所内グループ会社を繋ぐ熱再利用ライン新設による画期的省エネ技術の開発[加熱蒸気量3割削減、発電量104kWアップの実現]」黒田知宏(DOWAエレクトロニクス岡山㈱)、山本貴裕(DOWAテクノロジー㈱西部生産技術センター)、　臼杵潤一(エコシステム岡山㈱)(2)「高効率および低振動を両立したチップレーキプロペラの開発」岡崎全伯(ナカシマプロペラ㈱プロペラ・ESD設計部)

（４）顕彰事業（他団体主催の行事に協賛して（公社）山陽技術振興会会長賞を贈呈）

名　　称	開催日	内容	会長賞
第85回岡山県生徒･児童発明工夫展並びに2021岡山県未来の科学の夢絵画展(注１)	11月15日 12月5日	審査会　テクノサポート岡山 表彰式　テクノサポート岡山 主催　発明協会岡山県支部ほか	各１
第71回岡山県児童・生徒科学研究発表会（注２）	11月28日	於岡山理科大学 主催　岡山県科学教育研究会	4
第66回岡山県溶接技術競技会表彰式（注３）	11月4日	於岡山カルチャーホテル 主催　岡山県溶接協会	2
ロボカップジュニア2021岡山ブロック大会（注４）	12月19日	ライフパーク倉敷 岡山大会運営委員会	1

（注１）第85回岡山県児童生徒発明工夫展（A）・2021未来の科学の夢絵画展（B）11/15審査会、12/5表彰式：事前審査で選出の作品から（A）特賞12点、（B）特賞10点を決定。
12/7(火)表彰式(岡山県産業振興財団)にて当会会長賞を2人に授与。A．作品名「ミラクルペーパーホルダー」岡山市立三勲小学校6年大重糸（おおちょういと）、B．画題「私の心の身だしなみ」岡山県立倉敷天城中学校1年寺本蒼空（てらもとそら）
【全国入選】(1) 朝日新聞社賞岡山県私立清心中学校3年宮永苺果「サステナブルな未来の電気は、ホタル型自立式発光発電」、大気中の汚染物質やウイルス等を吸収分解してエネルギーに変換しながら飛ぶため、日常の夜、災害時、暗い夜道、電気の供給がない国の夜等、いろんな場面で役に立ちます。(2) 優秀賞岡山大学教育学部附属中学校2年笠颯斗「土壌改良ロボット」(3) 入選浅口市立鴨方東小学校2年筒井祥匡「まどがあいているか分かるシール」、(4) 入選 岡山大学教育学部附属小学校4年阿部太星「足でめくれるブックスタンド」、(5) 入選岡山市立芥子山小学校6年平野行哉「猫背注意報」
（注２）『生徒児童の顕彰事業』岡山県児童生徒科学研究発表会･表彰式11月28日（日）9:20～於岡理大今回は表彰式を非公開で実施、例年通り山技振会長賞の表彰状を4名に授与。【①玉野市立荘内小学校福田葵彩「さぐってみよう！だんごむしのひみつ」、②倉敷市立水島小学校塩崎光「アサガオの花の色のひみつ３～交配2代目の花の色はどうなる？」、③高梁市立高梁小学校片岡真緒「こうじ甘酒の甘みの仕組みを理解したい」、④津山市立北陵中学校長谷川みな海「水時計のひみつ～水の流れを科学する～」】
（注３）第66回岡山県アーク溶接技術競技会表彰式 2021.11.4（木）13:00～14:30 於リーセントカルチャーホテル　手溶接の部入賞者4名、半自動溶接の部入賞者8名、優良賞 大西秀和（JFEプラントエンジ株式会社倉敷事業所）に本会会長の表彰状を授与）
（注４）ロボカップジュニア2021岡山ブロック大会 in ライフパーク倉敷
2021.12.19（日）開催：当会会長特別賞賞状を1チームに授与（チーム名：generater)。

（５）共催事業（他団体主催の行事に共催して山陽技術振興会として協力）
・川崎医科大学KMSメディカル・アーク2022 【オンライン大会】：2022年2月9日(水)12:00~16:00（山陽技術振興会後援）完了（アークにはノアの方舟の「方舟Ark」の意味が込められており、次世代へ伝えるべき医療の見本市となることを目指す。）

（６）協力事業（他団体主催の行事に山陽技術振興会として後援・協力・協賛）
・おかやま発明協会令和３年度定時総会、6月7日(月)、テクノサポート岡山　今年も生徒/児童発明工夫展・未来の科学の夢絵画展に協賛。
・令和３年度岡山大学産学官融合センター研究協力会理事会総会：2022年3月24日（木）10:00～12:00 於岡山大学本部棟第一会議室、20年以上に亘り本会の会長を務められた中島博氏が退任することとなった。
・岡山理科大学第20回OUSフォーラム2020 ：11月24日～30日（オンライン開催）［http://renkei.office.ous.ac.jp/forum］．産学官連携の成果発表会を県内トップを切って開催し、20年間休みなく継続開催しているのは立派。

６. 会員の異動状況　（令和4年3月31日現在）

会　員	令和３年度会員数	令和３年度異動		令和４年度会員数
		入 会	退 会	
法人会員	32	0	2	30
公共機関会員	12	0	1	11
団体会員	9	0	1	8
個人会員	26	2	2	26
合 計	79	2	6	75

令和３年度会員異動（実績）
入　会　　法人会員
　　個人会員　植田章夫、菅誠治
退　会　　法人会員　岡山トヨペット㈱、㈱ティーアールエス
　　公共機関　メディカルテクノおかやま（解散）
　　団体会員　㈳アルカディア
　　個人会員　阿部匡伸、谷口人文

令和3年度年間事業実績一覧表

年	2021									2022				
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
総会 講演会		X5/20商工会議所・講演 丸五ｺﾞﾑ岡本卓郎会長	6/4 山陽人材育成会第15回総会	岡山県報告書提出	報告書【県指導】									5/26総会
理事会		X①5/20総会前第1回理事会						X②11/00中間理事会				③3/29 理事会		①5/26総会前理事会
工場見学会	①×					②×		③×			④×			
セミナ（適宜開催）														
技術交流会			①×				②×			③×		④×		
山技振サロン(第3金)	X16(金)	×	X18(金)	X16(金)	X8/19(木) 大交流会	X17(金)	X15(金)	X19(金)	X12/0 大交流会	X21(金)	X18(金)	X18(金)	X15(金)	×
MN技術奨励賞		X授与式						○募集開始		1/31 締切	書面審査	○選考会議		授与式
山陽技術雑誌		会員配布 Vol.69						○募集開始		1/31 締切		○編集委員会	印刷	会員配布 Vol.70
文部科学大臣表彰	○表彰式（郵送）		○募集開始	○7/0 県締切		○9/0文科省〆切							4/00 表彰式	
岡山県知事表彰	○表彰式（郵送）		○募集開始				○10/0 締切						4/00 表彰式	
岡山県児童生徒発明工夫展・科学の夢絵画展								○審査会 11/00	○表彰式 12/00					
岡山県児童生徒科学研究発表会					○賛助金				○ 発表会・表彰状					
岡山県溶接技術競技会			○表彰式											
ロボカップｼﾞｭﾆｱ岡山ﾌﾞﾛｯｸ大会								○賛助金			○決勝・表彰式 2/00			
共催協力事業・二水会		○岡山工学振興会(審査会) ○ﾒﾃﾞｨｶﾙﾃｸﾉおかやま総会		○工学振興会（贈呈式）					○岡山リサーチパーク		○川崎医大 ﾒﾃﾞｨｶﾙｱｰｸ	○岡山県産業振興財団評議員会		
有隣会・天寿会	○全世話人	○理事会 ○天寿会	○世話人 ○評議員	X講演会 ○世話人	○評議員	○世話人	○世話人	○世話人	○世話人	○世話人	○世話人	○世話人	世話人	世話人
山技振たより	毎月月初め　ホームページ更新、”山技振たより”郵送													

［第２号議案］

令和3年度　基本事業収支決算　（令和3年4月1日～令和4年3月31日）　（単位:円）

項　　目	決算額	予 算 額	増減(決−予)	備　　考
Ⅰ　事業活動収支の部				
1　事業活動収入				
会費収入	2,120,000	2,730,000	△ 610,000	
法人会費	1,740,000	2,300,000	△ 560,000	
公共機関会費	180,000	190,000	△ 10,000	
団体会費	80,000	100,000	△ 20,000	
個人会費	120,000	140,000	△ 20,000	
事業収入	470,110	2,250,000	△ 1,779,890	
技術振興普及事業	0	1,800,000	△ 1,800,000	セミナー、交流会、見学会、サロン休止
科学情報提供事業	470,110	450,000	20,110	
(ｲ)資料斡旋複写	(95,110)	(50,000)	(45,110)	特許文献コピー等
(ﾛ)雑誌掲載広告料	(375,000)	(400,000)	(△25,000)	山陽技術雑誌の広告
村川･難波技術奨励賞基金	0	443,000	△ 443,000	該当者なし
山陽技術賞基金	0	500,000	△ 500,000	創立記念式中止
寄付金･支援金	290,125	0	290,125	
受取利息収入	22	0	22	
雑収入	1,200,000	1,000,000	200,000	人材支援等
事業活動収入計	4,080,257	6,923,000	△ 2,842,743	
2　事業活動支出				
①事業費支出	3,285,596	3,951,000	△ 665,404	
給与手当	2,880,000	3,010,000	△ 130,000	全体の約70％
技術振興普及事業費	405,596	941,000	△ 535,404	
旅費交通費	0	60,000	△ 60,000	
通信運搬費	101,688	120,000	△ 18,312	
事務消耗費	17,181	10,000	7,181	
印刷費	16,280	50,000	△ 33,720	
賃借料	10,690	31,000	△ 20,310	室料
諸謝金	0	30,000	△ 30,000	セミナー、交流会、サロン休止
租税公課	50,059	80,000	△ 29,941	
負担金	190,527	230,000	△ 39,473	
会議費	4,665	250,000	△ 245,335	技術交流会、サロン、セミナー休止
雑費	14,506	80,000	△ 65,494	
村川･難波技術奨励賞	0	443,000	△ 443,000	該当者なし
山陽技術賞基金	0	500,000	△ 500,000	創立記念式中止
技術情報提供費	355,850	353,000	2,850	
学術雑誌発行費	342,650	340,000	2,650	
情報関連経費	13,200	13,000	200	
②管理費支出	1,478,246	1,676,000	△ 197,754	
給与手当	1,122,269	1,250,000	△ 127,731	全体の約30％
会議費	3,150	130,000	△ 126,850	総会、役員会 書面開催
通信運搬費	72,849	60,000	12,849	
修繕費	4,500	0	4,500	
消耗品費	3,960	4,500	△ 540	
印刷製本費	80,025	80,000	25	総会議案
光熱･水料費	183,165	120,000	63,165	
火災保険料	2,520	2,500	20	
雑費	5,808	29,000	△ 23,192	
事業活動支出計	5,119,692	6,923,000	△ 1,803,308	
事業活動収支差額	△ 1,039,435	0	△ 1,039,435	
Ⅱ　技術賞へ繰入	0	0	0	
Ⅲ　財務活動収支の部	0	0	0	
Ⅳ　予備費支出	0	0	0	
次期繰越収支差額	877,466	1,916,901	△ 1,039,435	
村川･難波技術奨励賞基金	443,932	443,932	0	
山陽技術賞基金	1,168,515	1,168,319	196	

令和3年度人材育成講座決算

令和3年4月1日～令和4年3月31日(単位　円)

	項目		決算	予算額	増減	備考
1	事業活動収入の部					
	①会費収入					
		山陽人材育成会費	1,260,000	1,240,000	20,000	会員62口→63口
	②事業講座収入					
		受講料費	44,786,000	47,000,000	△ 2,214,000	体験型講座の中止
	③補助金収入					
		補助金	0	0	0	雇用調整助成金,家賃支援給付金
	④受託事業収入					
		受託研修事業	440,000	550,000	△ 110,000	カネカ社受託なし
	⑤雑収入					
		受取利息	287	10,000	△ 9,713	
		雑収入	303,000		303,000	岡山産業安全塾共催
	事業活動収入計		46,789,287	48,800,000	△ 2,010,713	
2	事業活動支出の部					
	①事業支出		26,465,546	30,470,000	△ 4,004,454	
		労務費	5,829,500	6,000,000	△ 170,500	
		講師謝礼	10,566,556	14,000,000	△ 3,433,444	体験型委託費減
		研修会議費	75,945	500,000	△ 424,055	リモート化で来場者減
		テキスト費	676,280	600,000	76,280	東洋紡岩国出前対応
		講座関連費	1,347,265	700,000	647,265	設備管理備品輸送とリモート増
		教材改訂・開発費	7,040,000	7,570,000	△ 530,000	講座実施講師7割
		受託事業経費	930,000	1,100,000	△ 170,000	カネカ社受託なし
	②管理運営費		15,471,542	15,830,000	△ 358,458	
		労務費	7,450,861	7,300,000	150,861	
		旅費交通費	322,520	500,000	△ 177,480	リモート会議に切替6割減
		消耗品費	183,174	300,000	△ 116,826	不急経費削減
		通信費	620,796	500,000	120,796	リモート化費用増
		広告宣伝費	259,500	450,000	△ 190,500	広告削減
		会議費	0	250,000	△ 250,000	ゼロ化
		新聞図書費	159,312	160,000	△ 688	
		OA費	703,320	500,000	203,320	リモート化費用増
		修繕費	24,200	150,000	△ 125,800	不急経費削減
		雑費	194,371	420,000	△ 225,629	不急経費削減
		備品	2,300,710	1,500,000	800,710	複合機更新追加
		リース代	575,672	600,000	△ 24,328	
		研修室賃借料	1,396,000	1,950,000	△ 554,000	貸付金65万円を除く標記
		協力費	1,000,000	1,000,000	0	
		水道光熱費	281,106	250,000	31,106	
	③公租課税					
		消費税	554,041	500,000	54,041	
	事業活動支出計		42,491,129	46,800,000	△ 4,308,871	
事業活動収支差			4,298,158	2,000,000	2,298,158	積立200万,引当230万
研修室改造費			0	0		
総支出			42,491,129	46,800,000		
総合収支差			4,298,158	2,000,000		研修室積立200万円、消費税引当230万円

	期末	期首		
一般積立金	12,835,609	10,537,451	2,298,158	受取消費税引当金230万円
研修室基金	16,013,688	14,013,688	2,000,000	200万円を積立
貸付金	1,200,000	1,850,000	△ 650,000	研修室貸付金の取崩65万円
積立金合計	30,049,297	26,401,139	3,648,158	
退職金積立	2,245,200	1,688,400	556,800	2021年度積立額

財　産　目　録

令和4年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金　額
（流動資産）				
	現金	手元	運転資金	21,205
	預金	普通預金 中銀倉敷駅前	運転資金	852,532
		普通預金 中銀倉敷駅前	運転資金	12,925,046
		振替預金	運転資金	29,829
	前払金	松平コーポレーション、講師	講義室料	165,000
	貸付金	松平コーポレーション	講義室料	1,200,000
流動資産合計				15,193,612
（固定資産） 特定資産				
	山陽技術賞基金	定額定期・通常貯金 ゆうちょ銀行	公益目的保有財産であり、運用益を山陽技術賞事業の財源として使用している。	1,168,515
	村川・難波技術奨励賞基金	定期預金・普通預金 中銀倉敷駅前	公益目的保有財産であり、運用益を村川・難波技術奨励賞事業の財源として使用している。	443,932
	退職給付引当預金	定期預金 中銀倉敷駅前	職員退職給付引当金の引当資産として積み立てている。	2,245,200
	研修室資産取得資金	普通預金 中銀倉敷駅前	人材育成事業を行う施設を維持するために積み立てている資産。	16,013,688
固定資産合計				19,871,335
資産合計				35,064,947
（流動負債）				
	預り金	職員	源泉所得税、社会保険料	193,358
	未払金	日本年金機構	社会保険料	87,179
流動負債合計				280,537
（固定負債）				
	退職給付引当金	職員	公益目的事業・管理目的の業務に従事する職員の退職給付引当金である。	2,245,200
固定負債合計				2,245,200
負債合計				2,525,737
正味財産				32,539,210

正 味 財 産 増 減 計 算 書

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1)経常収益			
①受取会費	3,380,000	3,450,000	△ 70,000
②事業収益			
技術振興事業	470,110	462,038	8,072
人材育成事業	45,226,000	21,454,700	23,771,300
③受取寄付金			
受取寄付金振替額	0	528,595	△ 528,595
寄付金・支援金	290,125	791,000	△ 500,875
④雑収益	1,503,309	5,009,079	△ 3,505,770
経常収益計	50,869,544	31,695,412	19,174,132
(2)経常費用			
給与手当	15,587,500	14,665,000	922,500
福利厚生費	1,138,330	730,296	408,034
退職給付費用	556,800	533,200	23,600
講師謝礼	10,566,556	5,817,382	4,749,174
会議費	83,760	86,902	△ 3,142
印刷・製本費	1,348,257	856,996	491,261
講座関連費	1,347,265	110,000	1,237,265
教材改訂・開発費	7,040,000	4,316,060	2,723,940
受託事業経費	930,000	807,700	122,300
旅費交通費	322,520	183,550	138,970
通信運搬費	795,333	605,587	189,746
設備・備品費	2,300,710	270,589	2,030,121
修繕費	28,700	10,450	18,250
消耗品費	204,315	173,494	30,821
支払負担金	190,527	217,527	△ 27,000
光熱水料費	464,271	362,643	101,628
賃借料	2,056,690	2,032,000	24,690
租税公課	604,100	2,775,900	△ 2,171,800
広告宣伝費	259,500	266,800	△ 7,300
表彰費	0	500,000	△ 500,000
雑誌発行費	342,650	342,650	0
雑費	2,093,037	802,564	1,290,473
経常費用計	48,260,821	36,467,290	11,793,531
当期経常増減額	2,608,723	△ 4,771,878	7,380,601
2 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
指定正味財産へ振替	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,608,723	△ 4,771,878	7,380,601
一般正味財産期首残高	28,318,040	33,089,918	△ 4,771,878
一般正味財産期末残高	30,926,763	28,318,040	2,608,723
Ⅱ指定正味財産増減の部			
基本財産利息収益	0	0	0
一般正味財産からの振替額	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	△ 528,595	528,595
受取利息	196	195	1
当期指定正味財産増減額	196	△ 528,400	528,596
指定正味財産期首残高	1,612,251	2,140,651	△ 528,400
指定正味財産期末残高	1,612,447	1,612,251	196
Ⅲ正味財産期末残高	32,539,210	29,930,291	2,608,919

財務諸表に対する注記

1．重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給付引当金は、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2．特定資産の増減額及びその残高

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
山陽技術賞基金	1,168,319	196	0	1,168,515
村川・難波技術奨励賞基金	443,932	0	0	443,932
退職給付引当預金	1,688,400	556,800	0	2,245,200
研修室資産取得資金	14,013,688	2,000,000	0	16,013,688
合　　計	17,314,339	2,556,996	0	19,871,335

3．特定資産の財源等の内訳

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
山陽技術賞基金	1,168,515	1,168,515	0	0
村川・難波技術奨励賞基金	443,932	443,932	0	0
退職給付引当預金	2,245,200	0	0	2,245,200
研修室資産取得資金	16,013,688	0	16,013,688	0
合　　計	19,871,335	1,612,447	16,013,688	2,245,200

4．担保資産の有無について

該当なし。

5．保証債務等の偶発債務

該当なし。

6．指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

内容	金額
経常収益への振替額	
目的達成による指定解除額(指定事業の実施)	0
合計	0

貸　借　対　照　表

令和4年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金・預金	13,828,612	12,468,074	1,360,538
前払金	165,000	133,000	32,000
貸付金	1,200,000	1,850,000	△ 650,000
流 動 資 産 合 計	15,193,612	14,451,074	742,538
2 固 定 資 産			
(1)有形固定資産			
什器・備品			
有形固定資産合計	0	0	0
(2)投資その他の資産			
①特定資産			
山陽技術賞基金	1,168,515	1,168,319	196
村川・難波技術奨励賞基金	443,932	443,932	0
退職給付引当預金	2,245,200	1,688,400	556,800
研修室資産取得資金	16,013,688	14,013,688	2,000,000
特 定 資 産 合 計	19,871,335	17,314,339	2,556,996
固 定 資 産 合 計	19,871,335	17,314,339	2,556,996
資 産 合 計	35,064,947	31,765,413	3,299,534
Ⅱ　負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
預り金(職員保険料、税)	193,358	103,322	90,036
未払金(社会保険料)	87,179	43,400	43,779
流 動 負 債 合 計	280,537	146,722	133,815
2 固 定 負 債			
退職給付引当金	2,245,200	1,688,400	556,800
固 定 負 債 合 計	2,245,200	1,688,400	556,800
負 債 合 計	2,525,737	1,835,122	690,615
Ⅲ　正 味 財 産 の 部			
指定正味財産	1,612,447	1,612,251	196
一般正味財産	30,926,763	28,318,040	2,608,723
正味財産合計	32,539,210	29,930,291	2,608,919
負債及び正味財産合計	35,064,947	31,765,413	3,299,534

積 立 預 金 報 告

1. 山陽技術賞基金（令和4年3月31日現在）

（単位：円）

前年度末残高		1,168,319
利息繰入額		196
新規繰入額		0
戻入額		0
取崩し額		0
当年度末残高		1,168,515
積立預金内訳	ゆうちょ銀行（定額定期・通常貯金）	1,168,515

2. 村川・難波技術奨励賞基金（令和4年3月31日現在）

前年度末残高		443,932
当年度利息繰入額		0
当年度利息取崩し額（経常へ）		0
当年度表彰額（経常へ）		0
当年度末残高		443,932
定期預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	443,932
普通預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	

3. 退職給付引当預金（令和4年3月31日現在）

前年度末残高		1,688,400
当年度引当額		556,800
当年度利息		30
当年度利息取崩し額（人材育成経常へ）		30
当年度取崩し額		0
当年度末残高		2,245,200
定期預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	2,245,200

4. 研修室資産取得資金（令和4年3月31日現在）

前年度末残高		14,013,688
当年度利息		141
当年度利息取崩し額（人材育成経常へ）		141
新規繰入額		2,000,000
当年度末残高		16,013,688
普通預金内訳	中国銀行（倉敷駅前支店）	16,013,688

正味財産増減計算書 （損益ベース）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで　　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　　計
Ⅰ一般正味財産増減の部				
1経常増減の部				
(1)経常収益				
①資産運用益	0		0	0
②受取会費	1,690,000		1,690,000	3,380,000
③事業収益				
技術振興事業	470,110		0	470,110
人材育成事業	34,051,315		11,174,685	45,226,000
④受取寄付金				
受取寄付金振替額	0		0	0
寄付金・支援金	290,125		0	290,125
⑤雑収益	1,503,309		0	1,503,309
経常収益計	38,004,859	0	12,864,685	50,869,544
(2)経常費用				
給料手当	8,487,500		7,100,000	15,587,500
福利厚生費	0		1,138,330	1,138,330
退職給付費用	222,000		334,800	556,800
講師謝礼	10,566,556		0	10,566,556
会議費	80,610		3,150	83,760
印刷・製本費	692,560		655,697	1,348,257
講座関連費	1,347,265		0	1,347,265
教材改訂・開発費	7,040,000		0	7,040,000
受託事業経費	930,000		0	930,000
旅費交通費	156,920		165,600	322,520
通信運搬費	652,939		142,394	795,333
設備・備品費	0		2,300,710	2,300,710
修繕費	0		28,700	28,700
消耗品費	17,181		187,134	204,315
支払負担金	190,527		0	190,527
光熱水料費	120,000		344,271	464,271
賃借料	2,056,690		0	2,056,690
租税公課	602,400		1,700	604,100
広告宣伝費	0		259,500	259,500
表彰費	0		0	0
雑誌発行費	342,650		0	342,650
雑費	1,890,338		202,699	2,093,037
経常費用計	35,396,136	0	12,864,685	48,260,821
当期経常増減額	2,608,723		0	2,608,723
2経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0		0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
指定正味財産へ振替	0		0	0
当期一般正味財産増減額	2,608,723		0	2,608,723
一般正味財産期首残高	28,318,040		0	28,318,040
一般正味財産期末残高	30,926,763		0	30,926,763
Ⅱ指定正味財産増減の部				
基本財産利息収益	0			0
一般正味財産からの振替額	0			0
一般正味財産への振替額	0			0
受取利息	196			196
当期指定正味財産増減額	196			196
指定正味財産期首残高	1,612,251			1,612,251
指定正味財産期末残高	1,612,447			1,612,447
Ⅲ正味財産期末残高	32,539,210	0	0	32,539,210

監　査　報　告　書

令和４年　５月１６日

公益社団法人　山陽技術振興会
　会長　　梶 谷 浩 一　殿

公益社団法人　山陽技術振興会

監事　雀部　中男

監事　福山　照芳

私ども監事は、公益社団法人 山陽技術振興会の令和３年度職務執行ならびに会計について監査を行い、監査２人の一致した意見として以下のように報告します。

１．監査の方法と内容

私ども監事は、理事及び使用人、会員と意思疎通を図り、情報の収集および監査環境の整備に努めると共に、理事会に出席し、理事及び使用人からその職務の執行について報告を受け、重要な決済書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、令和３年度の事業報告について監査しました。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

２．監査の結果

（１）　事業報告等の監査結果

①　事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく表示していると認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に反する重大な事実は認められません。

（２）　計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全て適正に表示しているものと認めます。

令和４年５月１６日

自署　押印　雀部中男

自署　押印　福山照芳

令和４年度　活動方針と事業計画

Ａ　活動方針

（公社）山陽技術振興会は会員が自主的に協力して相互研鑽、技術振興をもって、産業の発展に資するとして集まっている団体である。その特徴は会員主導、技術交流をもとにした技術者交流である。技術不信が言われる時、技術立国を目指し積極的に行動する。

１．技術者交流をより活発にする。
２．産学官連携を積極的に行い、会員の増加に努力する。
３．「山陽人材育成講座」の持続性を高めるよう新たなニーズ把握に努める。
４．公益法人にふさわしい活動の多様化を目指す。

Ｂ　実行計画

（別紙令和４年度年間事業計画表参照）

１．第７７回総会　５月２６日（木）１５時　倉敷商工会議所
２．第１７回村川・難波技術奨励賞授賞式　１５時３０分～
３．記念講演「丸五グループ１００年の歩み～もっと愛される１００年へ～」
　　岡本卓郎（丸五ゴム工業㈱代表取締役会長）１６時～
４．セミナ：環境、DX、革新技術など特色あるセミナを企画､実施する。
５．交流会：技術交流会（年間４回程度）　講師の講演と交流会　夕方 18:00～20:30
６．山技振サロン（兼企画委員会・編集委員会）：原則毎月第３金曜日 18:00～20:00
　８月、１２月は懇親大交流会
７．工場見学会　年間４回程度（４，６，１０，１月）適宜実施
８．技術情報発信　①山技振ホームページの充実。②「山技振たより」毎月１日発行。
　　③山陽技術雑誌 Vol.70　令和４年５月発行、300 部。
　　④補助金・助成金情報（不定期）

Ｃ　対外活動

１．他団体などと協力、共催して技術振興事業に努める。
２．科学技術業績の推薦、表彰をする（文部科学大臣表彰、県知事表彰、その他）。
３．顕彰事業（生徒/児童発明工夫展、未来の科学の夢絵画展、児童生徒科学研究発表会表彰式、溶接技術競技会表彰式、ロボカップジュニアで山陽技術振興会会長賞授与）

Ｄ　製造中核人材育成事業「山陽人材育成講座」

前年度は､コロナ禍の中で出前講座とリモート講座への切り替えに注力して様々な努力をして来た結果、受講者数は延べ 2,200 名超まで回復した。講座担当者、企業の

教育担当者、受講生、三者の創意工夫と努力により想定以上の教育効果を上げている。「コロナ禍でも企業の人材育成をしっかり支援する」との方針が企業にもしっかり受け止められたと評価している。今年度もこの方針のもとに、コロナ禍継続を見越し、且つ遠隔地からの要望にも沿う①リモート講座体制を継続する一方、②安全な体験型講座の再開と受講者数の一層の回復を進める。受講料改定の資金を講座の高度運営（リモート機器補完、タブレット PC)、既存講座の改廃や新規講座開発、等に投入する。さらに、アフターコロナを見越した新たなリモート講座の可能性調査と具体的提案をしたい［①「接種証明書」を活用した安心安全な体験型講座やグループ討議講座の運営、②座学リモート講座・出前講座を遠隔地に拡大、③管理職向け短期上級コースの新設と全国展開］。主な参加企業で山陽人材育成会を組織している。６月に倉敷商工会議所にて総会開催予定。主要企業の担当者会議を年４回開催し、各社の意見を聞いて講座に生かしている。また、AB（アドバイサリー・ボード）会議を年 4 回開催している。

Ｅ　技術奨励賞（村川・難波技術奨励賞、山陽技術賞）

第１７回村川・難波技術奨励賞：コロナ禍のせいか応募が１件であったが、レベルの高い内容であり審査の結果当選とした。総会で表彰する。

第１8 回募集は、今年と同様の縮小版賞金(一件 10 万円)で募集する予定。難波賞基金は平成３１年度で残金がほぼなくなり、村川賞も今年度（令和４年度）で残金がほぼ尽きる。次年度の技術奨励賞は募集が出来なくなる公算が高い。

山陽技術賞は、5 年に一度の創立記念式典の中で顕著な実績を上げた企業を表彰するものである。日頃から推薦候補に関する情報提供を会員各位にお願いする。

Ｆ　山陽技術振興会の新規事業探索

Ａの活動方針を踏まえて、新規事業についても常に検討を続けるが、公益法人申請時の届出事業に限定されること、教材開発や人材確保には予算の裏付けが必要なことなどから、慎重に進める必要がある。人材育成事業も経産省の委託事業からスタートしたものであり、委託事業はひとつの候補である。企画会議で検討する。

令和4年度事業計画一覧表

年	2022									2023				
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
総会 講演会		5/26商工会議所・講演 丸五ゴム岡本卓郎会長	6/0 山陽人材育成会第16回総会	報告書提出	報告書【県指導】									総会
理事会		①5/26総会前第1回理事会						②中間理事会				③理事会		①総会前理事会
工場見学会	①					②		③			④			
セミナ（適宜開催）														
技術交流会			①				②			③		④		
山技振サロン(第3金)	15(金)	×	17(金)	15(金)	8/19（金）大交流会	16(金)	21(金)	18(金)	大交流会	20(金)	17(金)	17(金)	21(金)	×
MN技術奨励賞		授与式						募集開始		1/31締切	書面審査	3/初選考会議		授与式
山陽技術雑誌		会員配布Vol.70						募集開始		1/31締切		編集委	印刷	会員配布Vol.71
文部科学大臣表彰	4/00表彰式			7/下県締切		9/初文科省締切							4/00表彰式	
岡山県知事表彰	4/00表彰式						10/00締切						4/00表彰式	
岡山県児童生徒発明工夫展・科学の夢絵画展								審査会11/00	表彰式12/00					
岡山県児童生徒科学研究発表会					賛助金				12/0発表会・表彰状					
岡山県溶接技術競技会			表彰式											
ロボカップジュニア岡山ブロック大会								賛助金	決勝・表彰式12/00					
共催協力事業		5/0岡山工学振興会(審査会)		7/0工学振興会（贈呈式）					12/0岡山リサーチパーク		2/0 川崎医大メディカルアーク			5/0岡山工学振興会(審査)
有隣会	4/12全世話人	5/10理事会 5/00天寿会	6/14世話人 6/28評議員	7/28講演会 7/12全世話人	8/9評議員	9/13世話人会	10/11世話人	11/8世話人	12/13世話人	1/10(火)世話人	2/14(火)世話人	3/14(火)世話人	4/11(火)世話人	5/9(火)理事会
山技振たより	毎月月初め　ホームページ更新、”山技振たより”会員郵送													

［第４号議案］

令和4年度基本事業予算　　令和4年4月1日～令和5年3月31日(単位　円)

	項目		予算額	前年度予算額	増減	備考
1	**経常収益**					
	受取会費		**2,400,000**	**2,730,000**	**△ 330,000**	退会（三井造船㈱、水島合金鉄㈱、㈱化繊ノズル製作所等）
	受取会費					
		法人会費	2,000,000	2,300,000	△ 300,000	
		公共機関会費	180,000	190,000	△ 10,000	
		団体会費	90,000	100,000	△ 10,000	
		個人会費	130,000	140,000	△ 10,000	
	事業収益		**2,250,000**	**2,250,000**	**0**	
	技術振興事業収益					
		技術振興普及事業	1,800,000	1,800,000	0	セミナー、交流会、見学会、サロン
		科学情報提供事業	450,000	450,000	0	資料斡旋、技術雑誌広告
	受取寄付金		**110,000**	**943,000**	**△ 833,000**	
	受取寄付金振替額					
		村川・難波技術奨励賞基金	110,000	443,000	△ 333,000	
		山陽技術賞基金	0	500,000	△ 500,000	
	寄付金・支援金		0	0	0	
	雑収益		**1,000,000**	**1,000,000**	**0**	
	受取利息		0	0	0	
	雑収益		1,000,000	1,000,000	0	
	経常収益計		**5,760,000**	**6,923,000**	**△ 1,163,000**	
2	**経常費用**					
	事業費		**4,142,000**	**5,247,000**	**△ 1,105,000**	
	給与手当		2,770,000	3,010,000	△ 240,000	新方式：給与手当の70%
	福利厚生費		29,000		29,000	新方式：福利厚生費の70%
	謝礼	諸謝金	20,000	30,000	△ 10,000	
	会議費	会議費	230,000	250,000	△ 20,000	技術交流会、サロン、セミナー
	印刷・製本費	印刷費	50,000	50,000	0	封筒等
	旅費交通費		50,000	60,000	△ 10,000	
	通信運搬費		110,000	120,000	△ 10,000	
	消耗品費		10,000	10,000	0	
	支払負担金		220,000	230,000	△ 10,000	
	賃借料		30,000	31,000	△ 1,000	室料
	租税公課		80,000	80,000	0	
	表彰費		100,000	900,000	△ 800,000	
	雑誌発行費		340,000	340,000	0	
	雑費					
		情報関連経費	13,000	13,000		
		雑費	90,000	123,000	△ 33,000	
	管理費		**1,618,000**	**1,676,000**	**△ 58,000**	
	給与手当		1,187,000	1,250,000	△ 63,000	新方式：給与手当の30%
	福利厚生費		13,000		13000	新方式：福利厚生費の30%
	会議費	会議費	120,000	130,000	△ 10,000	総会、役員会その他
	印刷・製本費	印刷製本費	80,000	80,000	0	総会議案
	通信運搬費		60,000	60,000	0	
	消耗品費		5,000	4,500	500	
	光熱水料費		120,000	120,000	0	
	雑費					
		火災保険料	3,000	2,500	500	
		雑費	30,000	29,000	1,000	
	経常費用計		**5,760,000**	**6,923,000**	**△ 1,163,000**	
経常損益計			**0**	**0**	**0**	

	期末	期首		
村川・難波技術奨励賞基金	**333,932**	**443,932**	**△ 110,000**	
山陽技術賞基金	**1,168,515**	**1,168,515**	**0**	

令和4年度人材育成講座予算

令和4年4月1日～令和5年3月31日(単位　円)

	項目		予算額	前年度予算額	増減	備考
1	経常収益					
	受取会費					
		山陽人材育成会費	1,260,000	1,240,000	20,000	会員62口→63口
	事業収益					
	人材育成事業	受講料費	48,880,000	47,000,000	1,880,000	受講料5%アップ
		受託研修事業	550,000	550,000	0	
	雑収益					
		受取利息	10,000	10,000	0	
		雑収益			0	
	経常収益計		50,700,000	48,800,000	1,900,000	
2	経常費用					
	事業費		41,286,000	33,920,000	7,366,000	
	給与手当		8,140,000	5,778,000	2,362,000	新方式：給与手当の70%
	福利厚生費		1,060,000			新方式：福利厚生費の70%
	退職金給付費用		436,000	222,000		新方式：退職金給付費用の70%
	謝礼	講師謝礼	14,110,000	14,000,000	110,000	
	会議費	研修会議費	500,000	500,000	0	
	印刷・製本費	テキスト費	700,000	600,000	100,000	前年実績参照
	講座関連費	講座関連費	1,800,000	700,000	1,100,000	リモートホスト費用増
		OA費	200,000			水江研修室専用OA費を新設
	教材改訂・開発費		7,130,000	7,570,000	△ 440,000	実証講座なし
	受託事業経費		1,100,000	1,100,000	0	
	通信運搬費		350,000	0	350,000	リモート講座専用運搬費を新設
	賃借料		2,150,000	1,950,000	200,000	付帯費用を追加
	雑費	協力費	1,000,000	1,000,000	0	
	租税公課		2,610,000	500,000	2,110,000	受取消費税150万円増
	管理費		9,014,000	12,880,000	△ 3,866,000	
	給与手当		3,500,000	5,922,000	△ 2,422,000	新方式：給与手当の30%
	福利厚生費		455,000	1,043,200	△ 588,200	新方式：福利厚生費の30%
	退職金給付費用		187,000	334,800	△ 147,800	新方式：退職金給付費用の30%
	旅費交通費		700,000	500,000	200,000	出張企業訪問再開
	消耗品費		300,000	300,000	0	
	通信運搬費		350,000	500,000	△ 150,000	事業費に移管分削減
	広告宣伝費		300,000	450,000	△ 150,000	広告削減
	会議費		160,000	250,000	△ 90,000	
	修繕費		150,000	150,000	0	
	備品費		832,000	1,500,000	△ 668,000	新会計維持費増、老朽化PC更新
	リース料		700,000	600,000	100,000	
	光熱水料費		250,000	250,000	0	
	雑費	新聞図書費	180,000	160,000	20,000	
		OA費	600,000	500,000	100,000	サーバーシステム強化増
		為替手数料	150,000	150,000	0	
		雑費	200,000	270,000	△ 70,000	
	経常費用計		50,300,000	46,800,000	3,500,000	
経常損益計			400,000	2,000,000	△ 1,600,000	受取消費税平準化
研修室改造費			0	0		
評価損益等調整後当期経常損益計			50,300,000	46,800,000		
評価損益等調整後当期経常増減額			400,000	2,000,000		

	期首	期末		
一般積立金	12,066,000	12,066,000	0	
研修室基金	16,013,688	17,013,688	1,000,000	経常利益と貸付金取り崩し合計
貸付金	1,200,000	600,000	△ 600,000	貸付金を取崩し研修室基金へ
積立金合計	29,279,688	29,679,688	400,000	
退職金積立	2,245,200	2,868,000	622,800	2021年度積立額

正味財産増減計算書（損益ベース）

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで　　（単位:円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合　計
Ⅰ一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1)経常収益				
資産運用益	0		0	0
受取会費	1,830,000		1,830,000	3,660,000
事業収益				
技術振興事業収益	2,250,000		0	2,250,000
人材育成事業収益	40,628,000		8,802,000	49,430,000
受取寄付金				
受取寄付金振替額	110,000		0	110,000
寄付金・支援金	0		0	0
雑収益	1,010,000		0	1,010,000
経常収益計	45,828,000	0	10,632,000	56,460,000
(2)経常費用				
給与手当	10,910,000		4,687,000	15,597,000
福利厚生費	1,089,000		468,000	1,557,000
退職給付費用	436,000		187,000	623,000
謝礼	14,130,000		0	14,130,000
会議費	730,000		280,000	1,010,000
印刷・製本費	750,000		80,000	830,000
講座関連費	2,000,000		0	2,000,000
教材改訂・開発費	7,130,000		0	7,130,000
受託事業経費	1,100,000		0	1,100,000
旅費交通費	50,000		700,000	750,000
通信運搬費	460,000		410,000	870,000
備品費	0		832,000	832,000
修繕費	0		150,000	150,000
消耗品費	10,000		305,000	315,000
支払負担金	220,000		0	220,000
光熱水料費	0		370,000	370,000
賃借料	2,180,000		0	2,180,000
リース料	0		700,000	700,000
租税公課	2,690,000		0	2,690,000
広告宣伝費	0		300,000	300,000
表彰費	100,000		0	100,000
雑誌発行費	340,000		0	340,000
雑費	1,103,000		1,163,000	2,266,000
経常費用計	45,428,000	0	10,632,000	56,060,000
当期経常増減額	400,000		0	400,000
2 経常外増減の部				
(1)経常外収益	0		0	0
経常外収益計	0		0	0
(2)経常外費用	0		0	0
経常外費用計	0		0	0
当期経常外増減額	0		0	0
指定正味財産へ振替				
当期一般正味財産増減額	400,000		0	400,000
一般正味財産期首残高	30,181,520		0	30,181,520
一般正味財産期末残高	30,581,520		0	30,581,520
Ⅱ指定正味財産増減の部				
基本財産利息収益	0			0
一般正味財産からの振替額	0			0
一般正味財産への振替額	△ 110,000			△ 110,000
受取利息	0			0
当期指定正味財産増減額	△ 110,000			△ 110,000
指定正味財産期首残高	1,612,447			1,612,447
指定正味財産期末残高	1,502,447			1,502,447
Ⅲ正味財産期末残高	32,083,967	0	0	32,083,967

［第５号議案］

令和４年度役員（案）（5月26日総会承認を要す）
今期は役員改選期です。原則留任をお願いしますが、人事異動等により変更のある場合は早めに連絡をお願いします。（法務局への届出書類が必要です。）

		姓名	所属企業・機関名	役職名	変更
理事	会長	梶谷浩一	(公社)山陽技術振興会	会長兼事務局長	
	副会長	古川誠博	ＪＦＥスチール㈱西日本製鉄所	所長 専務執行役員	
	〃	岡本卓郎	丸五ゴム工業㈱	代表取締役会長	
	〃	坂本和繁	㈱クラレ岡山事業所	事業所長 執行役員	
	〃	武鑓謙治	㈱タケヤリ	代表取締役社長	
		三浦智美	岡山県産業労働部	部長	
		菅　誠治	岡山大学工学部	工学部長	
		中村　修	岡山県工業技術センター	所長	
		中野正志	倉敷紡績㈱鴨方工場	工場長	
		小川博史	三菱ガス化学㈱水島工場	工場長 執行役員	
		坂本万明	倉敷商工会議所	専務理事	
		青木肇也	(公社)山陽技術振興会	人材育成室 室長	
		森山知己	倉敷芸術科学大学	副学長 研究連携センター長	
		香川俊樹	(公財)倉敷考古館	館長	
		藤森　徹	RSK山陽放送㈱	取締役副会長	
		日下知章	㈱山陽新聞社倉敷本社	常務取締役倉敷本社代表	○
		吉澤洋一	山陽電研㈱	常務取締役	
		兼信英雄	太陽電機工業㈱	代表取締役	
		中島　稔	ナカシマホールディングス㈱	代表取締役副会長	
		氏原　尚	ＤＯＷＡエレクトロニクス岡山㈱	代表取締役社長	
		三宅　雅	倉敷中央病院統括マネジメント本部	医療ｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ推進室 室長	
		沖　陽子	岡山県立大学	学長	
		井谷圭仁	旭化成㈱製造統括本部水島製造所	所長 理事	○
		植田章夫	(公社)山陽技術振興会	人材育成事業統括	
		横溝精一	(公社)山陽技術振興会	企画会議代表	
		山田知純	(公社)山陽技術振興会	人材育成室顧問	
監事		雀部中男	ササベ印刷㈱	取締役会長	
		福山照芳	（有）オール重設工事	顧問	
	名誉会長	池上　正	(公社)山陽技術振興会	名誉会長	
顧問		伊原木隆太	岡山県	知事	

変更予定　日下知章　⇒佐々木善久（㈱山陽新聞社倉敷本社　常務取締役倉敷本社代表）
　　井谷圭仁　⇒櫻井和光（旭化成㈱製造統括本部水島製造所　所長 執行役員）

研修室資産取得資金取扱規程

（目的）

第1条　この規程は、公益社団法人山陽技術振興会（以下「この法人」という。）定款第4条の事業を行うために有する研修室資産取得資金（以下の「研修室資金」という。）に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

（保有）

第2条 この法人は、特定資産として、研修室資金を保有することができる。

2 研修室資金は、自前の研修室取得に充当するための積立金であり、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第22条第3項第3号に規定する特定の財産の取得又は改良に充てるために保有する資金とする。

（積立）

第3条 事業年度に公益目的事業に剰余が生じたときは、その全額（→「理事会の決議により定めた額」）を研修室資金に積み立てる。

（研修室の取得に必要な最低額）

第4条 研修室の取得に必要な最低額は1.5億円とする。

2 前項の研修室の取得に必要な最低額の算定根拠は、研修室取得に要する必要額として、2019年3月理事会にて承認された見積額とする。

（運用）

第5条 研修室資金の運用対象は、金融機関への預貯金とする。

2 研修室資金は、他の資金と明確に区分して運用しなければならない。

（管理・取崩制限等）

第6条 研修室資金は、研修室取得に充当する場合を除いて、取り崩すことができない。

2 前項の規定により取り崩しを行う場合には、理事会の決議を得なければならない。また、前項にかかわらず、目的外の取り崩しを行う場合には、代表理事は、取り崩しが必要な理由を付して理事会に付議し、その決議を得なければならない。積立計画の中止、資産取得等に必要な額および積立期間の変更についても同様とする。

（閲覧）

第7条 この規程及びその写しは、当該研修室取得事業を支出した事業年度終了の日まで、それぞれこの法人の主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、法令の定める手順に従い閲覧の用に供するものとする。

（改廃）

第8条 この規程は、理事会の決議により改廃することが出来る。

（細則）

第9条 この規定の実施に必要な細則は、事務局長が別に定めるものとする。

附 則

1 この規程は、2019年5月21日より施行する。（2019年5月21日総会及び理事会決議）

規定制定　令和元年 5 月 21 日

条文変更　令和 4 年 5 月 26 日　第 3 条「その全額」→「理事会の決議により定めた額」に変更

[第７号議案]「事業内容の変更に関する申請手続きの件」

１．　　村川・難波技術奨励賞

2005 年に創設された村川技術奨励賞は、2018 年からは村川・難波技術奨励賞に名称変更した。この前年に難波敢氏（倉敷レーザー）から技術奨励賞のための寄付金を頂いたことによるものである。この点に関し、2011 年に登記した公益社団法人山陽技術振興会の事業内容には「村川技術奨励賞」と表記されており、「村川・難波技術奨励賞」は事業内容の変更に該当するため早急に（3 月末）変更届を提出するよう指導を受けた。理事会の承認を経て手続きを行う。

２．　　山陽技術賞

山陽技術賞は、5 年に 1 度の山陽技術振興会創立記念式で当該 5 年間に顕著な業績を上げた会員を表彰するもので、顕彰が主体で賞金授与はない事業であるが、設立当初から続けられている。本事業については、2011 年に登記した公益社団法人山陽技術振興会の事業内容に「山陽技術賞」の記載がなく、事業内容の記載漏れに該当するため補完手続きをするよう指導を受けた。理事会の承認を経て所定の手続きを行う。

[第８号議案]「定款の一部改訂の件」

【第 34 条の条文の一部改訂：<u>下線部</u>の文言を追加して「会員総会承認の時期」を明確化する】

１．(事業計画及び収支予算)

第 34 条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経て、会員総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

２ 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

⇒　第 34 条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の決議を経て、<u>当該事業年度の</u>会員総会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

２ 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。